

各種事業の成果報告書

1.クラブ名又は団体名	東京キワニスクラブ
2.責任者	会長 棚澤青路
3.事業の名称及び実行期間	キワニス子ども食堂 4/4,8/2
4.事業を実施した成果	孤食の子ども達を中心に食事と遊びを楽しんだ。
5.事業の具体的実施内容、関与人数等	堀之内「妙法寺」にてカレー・サラダ・デザート・飲み物を提供。食後はバルーンアート作り・プラバン作り・茶道体験等3時間たっぷり楽しんだ。来場者延 620 名。会員・家族等延 51 名。
6.不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していることの方法論	チラシ 1200 枚を地域の小中学校・児童館に配布。スーパー・寺・近隣商店にも掲示。
7.事業効果	これを機に「妙法寺」でみんなで集まって夏休みの宿題のお手伝い「寺子屋」を 8/25,8/26 に開催した。12 月以降定期的に開催する計画が進められている。
8.事業におけるクラブ又は団体の役割	主催。 場所の手配・料理の調達・チラシ作成・地元支援者のコーディネーター・付保等リスク対策など一切を取り仕切る。 なお、地域のボランティア、学士会館精養軒・サッポロホールディングス・社会福祉協議会等の協力を得た。
9.受益の機会の公開	事前には 6. に記載の広報。事後は（今後の為にも）関係者へのフォトブックの配布を行なった。
10.経費の明細	合計 549,892 円 経費明細別添 助成金割合 27.3%
11.本事業についての今後の方針	年間 4 回継続実施する方針。
12.本事業を実施するに際しての配布資料等参考資料の添付	活動レポート及びフォトブック 募集チラシ

各種事業の成果報告書

1.クラブ名又は団体名	東京キワニスクラブ
2.責任者	会長 棚澤青路
3.事業の名称及び実行期間	キワニスかんたん「子ども料理教室」 2017年2月26日
4.事業を実施した成果	子ども達が皆と交流しながら料理作りと食事を楽しんだ。 継続実施を期待されている。
5.事業の具体的実施内容、関与人数等	豊島園内「華蘭」（休業中レストラン）にてシェフ2名の指導に依り豚肉生姜焼き丼と豚汁を作りサラダ・飲み物と共に食事と会話を楽しんだ。来訪者：孤食・児童養護施設の子ども達を中心に34名。出席会員20名。（事前予約制）子ども達には当クラブ特製エプロンを提供。
6.不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していることの方法論	養護施設園長への案内。 コミュニティソーシャルワーカーを通じての子ども達への勧誘。
7.事業効果	孤立しがちな環境に在る子ども達が外の大人・子どもと交流する貴重な時間となった。 合わせて楽しく料理の腕を磨く契機ともなった。
8.事業におけるクラブ又は団体の役割	主催。 企画及びすべてのコーディネート。当日は受付から始まり、各テーブルで子ども達と会話。 株豊島園が協賛。乗り物券も提供して頂いた。
9.受益の機会の公開	事前には6. 記載のとおり。 事後は（今後の為にも）関係者にフォトブックを配布。
10.経費の明細	232,915円 明細別添 助成金割合 64.4%
11.本事業についての今後の方針	年2回継続実施の方針
12.本事業を実施するに際しての配布資料等参考資料の添付	活動レポート及びフォトブック 募集チラシ

各種事業の成果報告書

1.クラブ名又は団体名	東京キワニスクラブ
2.責任者	会長 棚澤青路
3.事業の名称及び実行期間	児童養護施設卒園進学者奨学金 2016年4月以降3か月ごとに10万円 最長4年間
4.事業を実施した成果	昨年度に引き続く1名に加え、更に1名に授与し、合計2名に支援した
5.事業の具体的実施内容、関与人数等	昨年度の大学進学者に40万円支給した 本年度の進学者に30万円支給した 受給者は年2回例会等で報告 会員1名がメンター役として常時連絡
6.不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していることの方法論	1月に各児童養護施設に(施設が推薦する)進学希望者の有無を打診
7.事業効果	園児の進学が可能になる 学内で他の学生との交流のハンディキャップの緩和
8.事業におけるクラブ又は団体の役割	適切な児童養護施設及び進学希望者の選定 受給者の就学状況のフォロー
9.受益の機会の公開	ホームページ、活動レポート等で制度を案内
10.経費の明細	奨学金年間40万円
11.本事業についての今後の方針	対象者を複数とし、より広く募集する
12.本事業を実施するに際しての配布資料等参考資料の添付	別紙参照

各種事業の成果報告書

1.クラブ名又は団体名	大阪キワニスクラブ
2.責任者	会長 前田 哲朗
3.事業の名称及び実行期間	児童虐待通告に伴う児童の安全確認・保護用車両 (キワニスカー)の寄贈 寄贈日 H29・6・9
4.事業を実施した成果	児童虐待通報件数が膨大であるため、自動車(公用車)の台数を増やすことにより、より迅速かつ的確に児童の安全確認及び安全確保の実効性が高まり、児童虐待の未然防止につながっている。
5.事業の具体的実施内容、関与人数等	大阪府・市に本事業を提示し、児童虐待通告に伴う児童の安全確認・保護用車両が早急に必要な施設を選択、車両、各種装備等を考慮し車を決定し、弊クラブ設立50周年記念式典席上にて贈呈。(クラブ会員(他クラブ参加者含む)約140名・大阪府・市約10名)
6.不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していることの方法論	大阪府下の児童センター、大阪市児童相談センターは、虐待通告を受けた全件について、市民や関係機関等の協力も得ながら児童の安全確認や必要に応じて児童の一時保護を実施している。
7.事業効果	自動車(公用車)の台数を増やすことにより、より迅速かつ的確に児童の安全確認及び安全確保の実効性が高まり、児童虐待の未然防止につながる。
8.事業におけるクラブ又は団体の役割	自動車(公用車)の台数を増やすことにより、より迅速かつ的確に児童の安全確認及び安全確保の実効性が高まり、児童虐待の未然防止に寄与
9.受益の機会の公開	大阪府の広報・ホームページ、弊クラブホームページにて公開。車体横に「公益法人キワニス日本財団・大阪キワニスクラブ寄贈」等について記載し、府民・市民はもちろん、一般の方々にも広くキワニス日本財団が大阪府・市の児童福祉事業の助成に関わっていることを周知。
10.経費の明細	日産マーチ 1.212SVパッケージ(中古車) 1台¥580,000 日産マーチ 1.2X(中古車) 1台¥620,000 合計 ¥1,200,000 キワニス日本財団助成金 ¥300,000 ¥900,000
11.本事業についての今後の方針	今後も毎年定期的な行事の際大阪府・大阪市と連携し「キワニスカー」の寄贈を続ける予定
12.本事業を実施するに際しての配布資料等参考資料の添付	

各種事業の成果報告書

1.クラブ名又は団体名	横浜キワニスクラブ
2.責任者	会長 川崎 裕司
3.事業の名称及び実行期間	母と子のためのコンサート 2017年7月25日(火)
4.事業を実施した成果	昨年より、マタニティを主体としたコンサートではなく、妊婦さんはもちろん乳幼児を連れた母から小学生の母親も親子で参加できるかたちにしたところ、出産が高齢化している現在40歳代の乳幼児連れの母の参加が非常に多くなっている。入場希望者が多く応募を途中で締め切るほど評判が高かった。
5.事業の具体的実施内容、関与人数等	夏休みに入って直ぐの実施のため、神奈川県警生活安全課による着ぐるみが子ども安全スクールを実施。会場の親子みんなが立ち上がって参加型のパフォーマンスを実施。 Ⅱ部は歌手麻衣さんとえびな少年少女合唱団、デージーホーリーシンガーズの合唱を交えたコンサートで、大人も子供も好きなトトロの世界を披露してもらう。 キワニスクラブ会員約30名とコスモスサテライトクラブ会員5名の協力を得、キワニスドルコーナーも好評だった。
6.不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していることの方法論	横浜市内、川崎市内の各区にチラシを置いて頂き、母親教室等の対象者が集まった際に配布協力を頂く。 会員の知人、会社関係等にチラシの設置を依頼。ホームページやFBでの告知も行う。
7.事業効果	少子化の現在、女性は40歳代近くまで仕事をし、出産年齢が遅くなっている。そのため、出産後は乳児を連れてどこかに参加することに積極的だ。 今年のコンサートでは、非常に多くの0歳児からの参加があったことは、その様な機会を求めている母が多くなっていると思う。

8.事業におけるクラブ又は団体の役割	企画運営すべてを会員が行う。準備期間と当日の朝から終演5時近くまで一日中肉体労働の厳しい活動だが、喜んで帰って行く参加者の皆さんにお役に立てている実感が活動の源だ。
9.受益の機会の公開	チラシは役所を通じて配布される。またネット上にアップされているので、現代の若い世代は簡単に申し込みが出来ることで多くの方々より申し込みを頂く。 特に今年は、QRコードを利用した事から早い時期から申し込みが殺到した。
10.経費の明細	総経費 62 万円 出演料 30 万円 会場費 20 万円 印刷費・通信費他 12 万円 助成金は会場費および印刷費等に充当全経費の 48%になる。
11.本事業についての今後の方針	今回、昨年以上に0歳児の参加が多かったことから、対象年齢が幅広くなり過ぎてしまった感が否めない。来年はどの年齢層に焦点を置くかを考慮しながら、父親も参加でき易いように平日以外の開催を計画する。
12.本事業を実施するに際しての配布資料等参考資料の添付	PDF で添付 チラシ、プログラム



各種事業の成果報告書

1. クラブ名又は団体名	和歌山キワニスクラブ								
2. 責任者	会長 岩橋一博								
3. 事業の名称及び実行期間	キワニス子ども文庫 平成 29 年 7 月 12 日 10 時 30 分～11 時 15 分								
4. 事業を実施した成果	子ども達の豊かな感性と創造力あふれる成長を願って発育段階に大いに読書に親しんで貰えるよう支援出来た。								
5. 事業の具体的実施内容、関与人数等	今年度は、幼稚園、保育所の 2 施設に各 100 冊程度の書籍と本箱をお贈りした。施設により子どもの人数は違うが今回は 2 施設合わせ約 126 名。								
6. 不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していることの方法論	対象の園については、教育委員会のアドバイスを頂き決定している。キワニスオリジナルの本箱を寄贈することにより広報活動ともなる。								
7. 事業効果	各マスコミの取材を受け和歌山キワニスクラブの知名度アップとなっている。								
8. 事業におけるクラブ又は団体の役割	書籍（絵本）購入の金銭的な援助をしている。また、少しでも子どもたちが活字に慣れて貰うよう役に立っている。								
9. 受益の機会の公開	贈呈式には対象となる園児をはじめ、施設関係者、公共団体が参加しており、その様子は各マスコミの取材等にも公開されている。								
10. 経費の明細	<table> <tr> <td>総経費額</td> <td>292,096 円</td> </tr> <tr> <td>明細 書籍代</td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>本箱代</td> <td>77,140 円</td> </tr> <tr> <td>配送料</td> <td>14,956 円</td> </tr> </table> <p>助成金の 160,000 円は、書籍代に使った。</p>	総経費額	292,096 円	明細 書籍代	200,000 円	本箱代	77,140 円	配送料	14,956 円
総経費額	292,096 円								
明細 書籍代	200,000 円								
本箱代	77,140 円								
配送料	14,956 円								

11. 本事業についての今後の方針	子ども達の豊かな感性と創造力あふれる成長を願って発育段階に大いに読書に親しんで貰う目的とし「キワニス子ども文庫」を今後も継続して支援活動していく。
12. 本事業を実施するに際しての配布資料等参考資料の添付	「キワニス子ども文庫」贈呈の様子は、新聞社から取材を受け地元欄に報道された。(添付)

各種事業の成果報告書

1.クラブ名又は団体名	鹿児島キワニスクラブ
2.責任者	巽 誠宣
3.事業の名称及び実行期間	事業名称：夏の体験キャンプ 実行期間：2017年7月29日（土）、30日（日）
4.事業を実施した成果	キャンプでの学び・体験型学習、コミュニケーション力・人間力・行動力の醸成ができました。
5.事業の具体的実施内容、関与人数等	実施内容：神川大滝見学、マス釣り体験、マス内臓の手捌き、テント組み立て、キャンプファイヤー、花火、昆虫採集、内之浦宇宙観測所見学 人数：児童31名、会員17名、ボランティアスタッフ3名
6.不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していることの方法論	ホームページ・フェイスブックのイベントページで告知を行いました。
7.事業効果	第4条（1）児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業 事業後、参加児童にヒアリングにて効果を確認いたしました。こどもたちの交流から生まれるコミュニケーション力、グループでともに活動する人間力・行動力の醸成を行い、次世代を担う子ども達の健やかな成長の一助となったと思います。
8.事業におけるクラブ又は団体の役割	事業全体の企画・運営に携わりました。
9.受益の機会の公開	ホームページ・Facebookで事業の様子や活動内容を公開しました。
10.経費の明細	総経費：428,236円 明細（助成金の使途） ：企画・演出費415,091円 演出費268,620円（助成金を200,000円充当、クラブ予算68,620円充当） 旅費交通費146,471円 ：広報費13,145円 助成金の割合 ：助成金200,000円÷総経費428,236円×100

	=46.7%
11.本事業についての今後の方針	<p>事業の参加募集開始から1週間で募集定員に達した事などから、多くの保護者・児童から期待されていることが分かり、また、事業後のヒアリングでも事業効果があったことが確認できたので、今後も継続して事業を続けて参りたいと思います。</p>
12.本事業を実施するに際しての配布資料等参考資料の添付	<p>   </p> <p>夏のキャンプチラシ表面2017.pdf しおりデータ.zip</p>

各種事業の成果報告書

1.クラブ名又は団体名	鹿児島キワニスクラブ
2.責任者	巽 誠宣
3.事業の名称及び実行期間	事業名称：日本青年会議所鹿児島ブロック協議会ブロック大会ブース出展 期間：5月27日（土）
4.事業を実施した成果	当クラブの活動を、JC 会員をはじめとする一般の方たちに周知できた
5.事業の具体的実施内容、関与人数等	実施内容：鹿児島ブロック協議会ブロック大会会場内にてブースを出展し、キワニス活動のPR並びに事業参加の呼びかけ 人数：6人
6.不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していることの方法論	キワニスクラブ活動内容を記載したパンフレットを配布いたしました。
7.事業効果	第4条（1）児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業 JC との共同活動で、より多くの人たちにキワニスの活動を普及啓発することが出来ました。
8.事業におけるクラブ又は団体の役割	事業全体の企画・運営に携わりました。
9.受益の機会の公開	ホームページ・Facebook で事業の様子や活動内容を公開しました。
10.経費の明細	総経費：139,860円 明細（助成金の使途） ：広報費 139,860円 （配布資料、ボールペン、のぼり旗、横断幕） 助成金の割合 ：助成金 100,000円 ÷ 総経費 139,860円 × 100 = 71.5%
11.本事業についての今後の方針	ブースを出展することで、初めて当クラブの存在を知った人たちも多く、また活動内容にもご理解を頂けたように思えます。JC に限らず継続して団体との協力活動は続けていくべきと考えます。

12.本事業を実施するに際して
の配布資料等参考資料の添付

PDF
人

PDF
人

キワニスパンフ201 鹿児島キワニスクラブ
7.pdf 横断幕・のぼり2_05

各種事業の成果報告書

1.クラブ名又は団体名	関東ディビジョン
2.責任者	副ガバナー 栗飯原吉伸
3.事業の名称及び実行期間	力士とあそぶ会 2017年6月3日(土)
4.事業を実施した成果	キワニスクラブの名前を地域に認知してもら う機会になった。1000人近くの人に忘れるこ とのない思い出を提供でき、子ども達には一生 の思い出と思う。
5.事業の具体的実施内容、関与 人数等	本物のふれ太鼓により開始、司会進行はテレビ でお馴染の横野レイコさんあたる。事前に小学 校で選ばれた子供たちはまわしを着け、力士と 相撲のふれあい。その後、校庭で綱引き。 最後に相撲部屋とPTAと一緒に作った「ちゃ んこ」を振る舞う。 地域や小学校関係者500名を予定していたが、 実際は900名近くの参加者が来場。
6.不特定かつ多数の者の利益 の増進に寄与していることの 方法論	産経新聞、タウンニュースの紙面掲載。募集は 地域掲示板へのポスター掲示および回覧板。小 学校からの案内他
7.事業効果	相撲ブームでテレビでの観戦はあっても、実際 に国技館等へ行って相撲観戦できるのは難し いが、力士が自分たちの学校に来て一緒に相撲 をし、ちゃんこを食べられる事は子どもに限ら ず夢の様に嬉しい事と思う。 実際地域の老人ホームから車いすで観戦に來 ている方が多数あった。
8.事業におけるクラブ又は団 体の役割	企画運営および当日のサポート等を会員が行 う。また実施に伴う費用はディビジョン内の各 クラブと会員より協力金を求めて実施する。
9.受益の機会の公開	横浜市立日枝小学校で実施のため、小学校あげ ての各家庭への周知、地域町内会、商店会等の 大々的な協力による広報。
10.経費の明細	総経費 70万円 会場費(子供用回し、土俵他含む) 28万円

	<p>ちゃんこ鍋費 15 万円 その他（印刷費・力士交通費他） 27 万円 助成金 30 万円は全体経費の約 43%にあたる。会場費および印刷費にあてる。</p>
11.本事業についての今後の方針	<p>今回は横浜で実施したが、今後関東ディビジョン内の他クラブで実施することが出来ればそれぞれの地域の子どもからお年寄りまで喜んで貰えると思う。今回の実施実績を持って検討して行きたい。</p>
12.本事業を実施するに際しての配布資料等参考資料の添付	<p>別紙添付 チラシ、プログラム</p>